

第10回日本糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム プログラム

11月29日(木)	
17:00-17:05	開会の辞 伊藤幸成 (世話人代表)
17:05-17:15	会長挨拶 川崎敏祐 (JCGG会長)
■特別講演	
17:15-18:00	半田 宏 (東京工業大学) ケミカルによる生命の謎への挑戦
18:00-18:10	休 憩
18:10-18:55	吉田賢右 (京都産業大学) ATP合成酵素の機構と制御
11月30日(金)	
■セッション1. 糖鎖の機能と運命	
9:30-9:55	伊藤幸成 (理化学研究所) 合成化学を基盤とする複合的糖鎖研究とERATOプロジェクトにおける新展開
9:55-10:20	瀬古 玲 (科学技術振興機構) ライブラリー合成に基づく糖鎖の小胞体内機能解析
10:20-10:45	和泉雅之 (大阪大学) 化学合成した変性糖タンパク質を利用するフォールディングセンサーUGGTの認識機構の解明
10:45-10:55	休 憩
10:55-11:20	蟹江 治 (東海大学) 有機化学と分析化学で糖鎖修飾の謎に挑む
11:20-11:45	鈴木 匡 (理化学研究所) 糖鎖の一生を探る
11:45-12:00	休 憩
12:00-12:45	ランチョンセミナー [Erexim法を用いた抗体医薬糖鎖構造の高速定量評価] 植田幸嗣(理化学研究所)
12:45-13:10	休 憩
■セッション2. 反応を極めて糖鎖をしらべる	
13:10-13:35	山田英俊 (関西学院大学) 3,6-O-(α -キシリレン)架橋によりアキシアル・リッチな立体配座としたフッ化糖を用いる β -グリコシル化反応
13:35-14:00	野上敏材 (京都大学) 有機化学的視点による糖鎖合成における二つの挑戦(仮題)
14:00-14:25	田中浩士 (東京工業大学) β グルカンオリゴ糖の合成とその機能評価
14:25-14:50	安藤弘宗 (岐阜大学) ガングリオシドの化学合成で細胞膜メゾ領域科学に迫る
14:50-15:10	休 憩
■セッション3. 糖鎖のかたちとはたらき	
15:10-15:35	杉田有治 (理化学研究所) 糖鎖の構造多形と分子認識機構
15:35-16:00	奥野恭史 (京都大学) システムズケミカルバイオロジー: バイオ情報とケミカル情報の統合によるデータマイニング
16:00-16:25	伏信進矢 (東京大学) ルイスa抗原とルイスx抗原を特異的に認識する1,3-1,4- α -L-フコシダーゼの立体構造
16:25-16:50	井原義人 (和歌山県立医科大学) O-マンノシル化糖修飾による細胞増殖の調節
16:50-17:15	遠藤玉夫 (東京都健康長寿医療センター) 老化と糖鎖
17:15-17:25	閉会の辞